

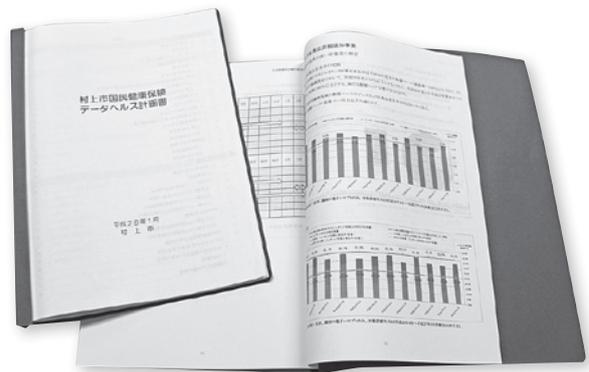
# 健康づくりを 効率的に行うために

～村上市国民健康保険データヘルス計画を策定～

データ分析  
で効果的な  
疾病予防を



神林支所地域福祉室 阿部保健師



高齢化の進展や医療の高度化により、村上市国民健康保険の医療費は年々増加しています。このためレセプト(診療報酬明細書)や特定健診のデータ情報を分析し、今後取り組むべき対策や保健事業を示したデータヘルス計画(平成28年度～29年度)を策定しました。その概要をお知らせします。なお、計画の全文は、市ホームページで公表しています。



データヘルス計画が  
目指すもの

効果的かつ効率的な保健事業が可能に

レセプトや特定健診のデータを分析・活用することで、加入者の疾病予防や健康づくりを効果的かつ効率的に行えるようになります。また、毎年度その効果測定および評価を行います。

健康寿命の延伸、医療費の適正化

死亡や後遺障害の要因となる脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症などを予防し、健康寿命を延伸することで健康格差を縮小し、あわせて医療費の適正化を図ります。

データ分析から  
わかること

①医療費が高い疾病

- 第1位 循環器系の疾患
- 第2位 新生物
- 第3位 精神および行動の障害

※循環器系の疾患(高血圧症、脳梗塞、心筋梗塞など)など、生活習慣に起因する疾患が1位となっています。次いで新生物(ガンなど)、精神および行動の障害(統合失調症など)の順となっています

②患者数の多い疾病

- 第1位 消化器系の疾患
- 第2位 循環器系の疾患
- 第3位 内分泌、栄養および代謝疾患

※消化器系の疾患(胃炎、胃潰瘍など)に次いで循環器系の疾患、内分泌、栄養および代謝疾患(糖尿病など)と続き、生活習慣病による患者数が多いことがわかります

③患者一人当たりの医療費が高額な疾病

- 第1位 精神および行動の障害
- 第2位 新生物
- 第3位 腎尿路生殖器系の疾患

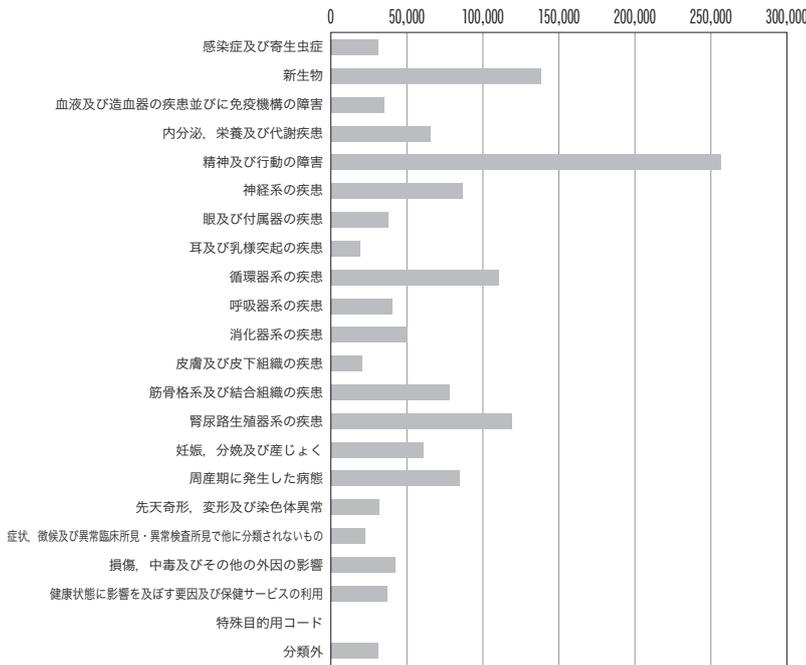
※これまでの疾患のほか、腎尿路生殖器系の疾患（腎不全など）が高い傾向にあります（左図参照）

効果的で効率的な保健事業を実施します

特定保健指導（生活習慣病予防）

特定健診の結果、生活習慣の改善が必要と判定された加入者へ保健師などによる面接指導などを行います。

■患者一人当たりの平成26年度年間医療費(円)



受診行動適正化指導  
（重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少）

レセプトから、医療機関への過度な受診が確認された加入者に対して、医療機関への適切な



かかり方について、看護師などによる面接指導などを行います。

健診異常値放置者受診勧奨（放置者の減少）

健診異常値を放置している加入者に対して、保健師などの訪問による受診勧奨、保健指導を行うことにより発症予防や重症化リスクの低減を図ります。

生活習慣病治療中断者受診勧奨（生活習慣病治療中断者の減少）

レセプトデータから生活習慣病の治療中断者に対して、保健師などの訪問による受診勧奨、保健指導を行うことにより発症予防や重症化リスクの低減を図ります。

ジェネリック医薬品差額通知（ジェネリック医薬品普及率の向上）

現在処方されている先発医薬品からジェネリック医薬品に切り替えた場合に、自己負担額がどのくらい安くなるかをお知らせします。



脳血管疾患の発症および重症化予防活動計画策定

平成30年度からの事業実施を目的に、治療や生活改善につながる指導方法などの対策を計画します。

健康チェックのために、特定健診や人間ドックを受診しましょう。40歳以上の国保加入者は、人間ドック受診費用の助成(1万円)を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。



●問い合わせ

【データヘルス計画】

保健医療課国保室

☎53・2111（内線251）

【特定健診、人間ドック助成】

保健医療課健康支援室

☎53・2111（内線264）